

伊福よしはる

宝塚改革プロジェクトNEWS Vol. 5

宝塚を変える
改革ネット<http://ifuku-yoshiharu.net>宝塚生まれ、宝塚育ち
昭和48年3月生まれ
光明小学校、高司中学校
宝塚西高校、同志社大学
同志社大学院、(株)クボタ
宝塚青年会議所発行: 伊福よしはる
住所: 宝塚市福井町19-12
TEL/FAX: 0797-72-3626日本が沈む日！①
少子高齢化は何が問題なのか？

将来、日本の人口が減少していくということは、みなさんご存じだと思います。「少子化」→「人口減少」という問題は、様々な先進国で問題となってきました。

■ それでは、日本の人口はどれくらい減少すると予想されているのでしょうか？

2008年 1億2700万人

↓

2045年 1億人

2050年 9500万人

2055年 8900万人

2050年には、1億人を下回ってしまいます。

■ 次に年代別の人口を見てみましょう。

	20~64歳	65歳以上
2010年	7500万人	2900万人
2050年	4500万人	3300万人

(出典：国立社会保障・人口問題研究所)

■ みなさん、この数字を見て、どう思われたでしょうか？

20~64歳の人口が減少し、65歳以上が増加します。

これが、少子高齢化を表す数字なのです。

今の年金制度は、働いている人が高齢者の年金を負担するという仕組みです。

現在、1人の高齢者を5人の勤労者で負担しているとすると、

2050年には、1人の高齢者を2.7人の勤労者で負担しなければなりません。

(右上に続く)

将来、勤労者(多くの若者)の負担がますます増加するのです。また、20~64歳の人口が減少するということは、労働人口が減少するということなのです。

労働人口が減少すると、経済性・生産性も低下します。

そのため、諸外国がとっている政策の1つが「移民」なのです。

しかし、移民は様々な問題があります。フランスでは、労働力不足に伴い移民を受け入れましたが、その後不況等により失業率が高まると、外国人が雇われなくなりました。

そして就職できない移民組は、やがて暴動を起こすようになったのです。

また日本の場合、移民を受け入れることによる犯罪の増加が懸念されています。

■ そこで、移民以外で問題を解決できる方法はないのでしょうか？

答えは、より多くの方が働ける環境を作るということなのです。それは、

1. 地域で高齢者が働ける環境を作る。
2. 多くの女性が働ける環境を作る。

徳島県上勝町では、徳島県で一番老人医療費が少ない町です。というのも、ほとんどの方が仕事を持っているからです。

それは、日本料理で使われる四季の彩りを飾る葉っぱを売るというものなのです。平均年齢70歳の方が、葉っぱを出荷して、中には年間約2千万円稼いでいる方もいるそうです。

■ 世界の現状から日本を見つめ、日本の現状から宝塚市を見つめる。そして、住民の幸せを導いていくのが、政治だと私は思います。

世界の動向、日本の動向から、おのずと必要な政策が見えてくるのです。

平成20年6月 定例市議会 伊福よしはるの一般質問 及び 答弁の概要

財政システムの改革を

<伊福よしはる>

行政が行っている各事業を1つずつ評価分析できるものにし、PDCAサイクル^{図1}を効率的に回すことにより予算の適正化が図れるが、今後そのように改善していくのか？

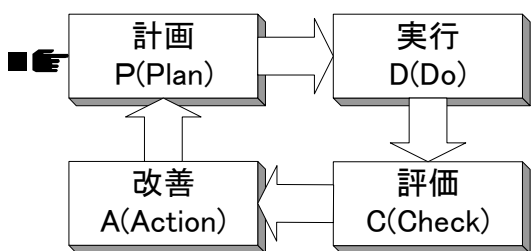


図1 PDCAサイクル(継続的に業務を改善していく方法)

<市 長>

今の事務事業評価^{※1}は、自己評価であり検証も不十分になりがちであるが、運用上の工夫によって克服できる。

<伊福よしはる>

システムの改善について、昨年の6, 9, 12月すべての本議会で質疑してきた。いろんな場面で施策の選択と集中という言葉聞くが各事業に対し、どれを選択し、集中的にやっているのか？それはどこに書かれているのか？

(右上段に続く)

<山下 副市長>

評価基準のあり方、評価方法を改善し今後導入を図りたい。(正確な答弁なし)

<伊福よしはる>

事業の効率性・生産性・有効性・コスト管理などの評価基準をシステムに組み込み市民への説明責任を果たすべきである。

<井上 財務企画部長>

現在の仕組みでは、そういう仕組みはない。今後議員が指摘している項目について反映できるよう検討していきたい。

<まとめ：これが大切>

行政の会計制度は、1年間の予算を管理する事(予算通りにお金が使われたか)に重点が置かれているため、1年間のみの決算になっている。しかし行政が行う事業は継続的に行われているため、複数年度に渡るコスト管理が必須である。そこで各事業に対して各指標で評価し、決算評価から予算編成へつなげる仕組み^{図2}づくりが必要である。

<※1：事務事業評価とは>

一般的に政策、施策、事務事業とは、まちづくりの方針、方針を実現するための具体的方策、それを達成するための実施事業のことをいいます。政策を実現するための手段が施策、施策を実現するための手段が事務事業、反対に事務事業の目的が施策、施策の目的が政策になります。

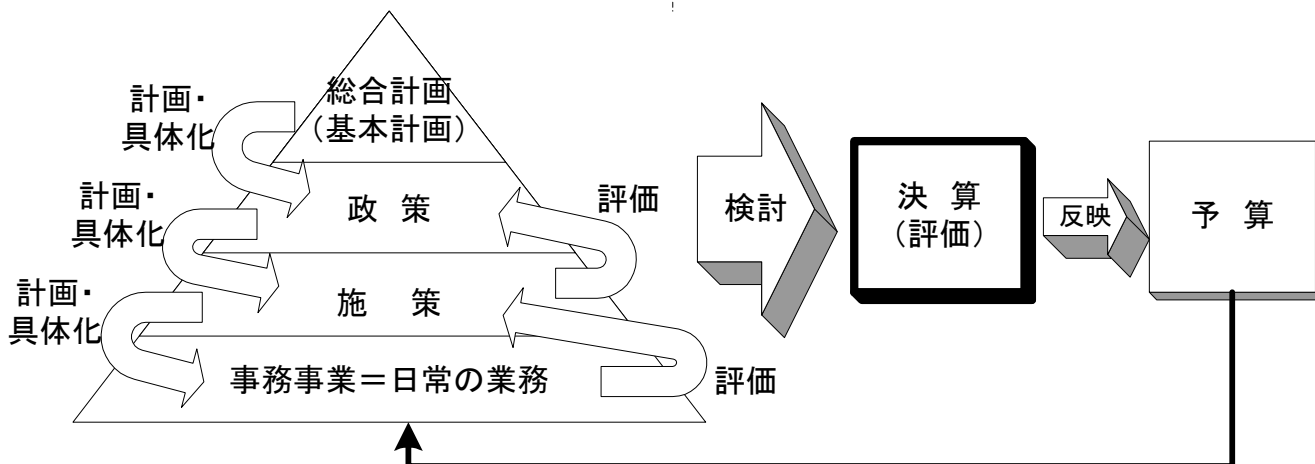


図2 行政経営(計画→実行→評価のサイクル)を目的とした決算重視の予算編成

資源ゴミ抜き取り対策

<伊福よしはる>

資源ゴミの抜き取りについて、数年前から問題が指摘されているが、一向に対策が進んでいない。今後の対応策は？

<市 長>

地域で集団回収をさらに充実させていくことが効果的であると考えています。そのため、集団回収に対して奨励金（再生資源1kgにつき、3円）を市から交付しています。

また東京都世田谷区などは、条例を制定し、罰則規定を盛り込んでいますが、現在、抜き取り業者と裁判中であり、本市もその結果を注視しているところです。

（地方裁では無罪、有罪と判断が分かれています。※1）

東京都中野区では今年の春より集団回収に全面移行した結果、抜き取りの被害がなくなったと聞いております。引き続き調査研究していきたい。

<伊福よしはる>

資源ゴミの抜き取りに関して、2つの問題点がある。

1つは、資源ゴミは換金性があり、市の収入につながるモノを無断で抜き取られ、市の利益が奪われるという点。

2つは、小学生の通学の時間帯と抜き取り業者が市内を競争しながら走り回る時間帯が重なり、通学時の安全安心が侵されているという点。（ゴミステーションは、狭い路地にもあり、そこから業者の車が猛スピードで飛び出してくる可能性もあり非常に危険である。）

また奈良県桜井市では、罰則を盛り込んだ条例を制定後、抜き取りはなくなったと私は確認している。

実際に、宝塚市内で小学生の保護者と抜き取り業者が言い合いをしていたという話も聞いています。早急な対策が必要である

<松藤 環境部長>

条例化の問題について、平成15年に一度調査しましたが、なかなか結果が出ていないという状況でした。

集団回収についても、100%集団回収にした場合、相当な量が燃やすゴミに入っ

（右上に続く）

てくるということが考えられます。

今後具体的な案まで検討し、試行的に対応していきたい。

<伊福よしはる>

以前から議論は出尽くしているはず。早急に対策をすべきである。

条例化については、平成16年にも質問があり、当時の市長は検討していくと答弁している。その後いろいろな市が条例を制定しているという事実がある。それでもまだ宝塚市は調査が必要なのか？

また、全市的な集団回収を進めていくなから、早急に行政が手を打つ必要がある。集団回収に対して、奨励金を付けている市はたくさんある。それだけで集団回収が進むとは、到底考えられない。

市民と業者が言い争いをしているという事実もある。これで通学時に事故など起こったらどうするのか？

<松藤 環境部長>

早急に具体策を進めて、結果を出したいと考えています。

<伊福よしはる>

いろいろな市民の方から提案を頂きました。通学時間帯の子どもたちの安全を守るために、資源ゴミを回収する時間帯をずらしたらどうか？など、すぐに実行できる対策もありました。

まずはすぐに実施できる形で子どもたちの安全安心を守る必要がある。実施を。

<<補 足>>

※1：質問当時、最高裁の判決が出ていませんでしたが、現在では、「有罪」という判決がでております。これをうけて、私も早急に対策を講じていきます。

「中野区に直接話を聞きました」

◆伊福：全面的に集団回収することによって可燃ゴミが増えて問題になりましたか？

◆中野区担当：古紙を可燃ゴミへ混ぜる方もおられるかもしれないが、1年間集団回収を続けてきて、そのような問題は起こっていません。逆に古紙自体の回収量が微増しています。

<まとめ>

以上より、条例化や集団回収は有効な手段であると言えます。子どもたちの安全安心を守るために伊福は政策作りに励みます。

みなさんのご意見をお待ちしております！

～ みんなの思いで、宝塚市を創ろう～

資源ゴミの抜き取り問題！どうするの？

これからの議員は、市民と一緒に宝塚市を良くするために「政策」を考えていかねばなりません。ゴミの抜き取り問題に対して、みなさんの声を聞かせて下さい。

〒665-0046 宝塚市福井町19-12 伊福まで

■私の方で5つの施策を考えてみました。他の方法も合わせてご意見を頂ければと思います。

1. 資源ゴミに所有権を設定する。	
<メリット> 所有権を設定することにより、ゴミ置き場にゴミの所有者を掲示し、業者に対して所有権を主張できる。また市民への啓発もできる。	<デメリット> 罰則などがなく、規制するという面では弱すぎる。
2. 資源ゴミに所有権を設定し、罰則をつける。	
<メリット> 世田谷区の裁判において、最高裁の判決により有罪が確定しているため、規制するという意味では一番効果が高い。	<デメリット> 規制するからには、定期的な取り締まりが必要であり、市職員が早朝パトロールを行うなど、人件費がかかる。(パトロールの回数にもよるが、墨田区では年間2000万円かかったという報告もある。)
3. 集団回収をすすめていく。	
<メリット> 中野区のように地域で全面的に集団回収ができれば、市が回収しなくて済む。また市が回収するゴミの量が減り、環境対策にもなる。集団回収はゴミの量に対して市から奨励金が出ており、地域の収入につながる。	<デメリット> 集団回収は、地域の方が主体となって進めるため、地域内での話し合いやルール作り、調整に時間がかかる。最終的には地域で管理しなければならない。全面集団回収の中野区でも、集団回収をしている場所から抜き取る乱暴な業者がでており、現在問題になっている。
4. 資源ゴミの回収を専門の回収業者に全面委託する。	
<メリット> 資源ゴミ回収業者と抜き取り業者は同業者のため、同業者の縄張りは侵さないという暗黙の了解から抜き取りが減る。市は直接回収しなくて済む。	<デメリット> 現在、中野区で問題になっているように、暗黙の了解を無視する乱暴な業者による抜き取りが宝塚市でも発生する可能性がある。
5. 資源ゴミだけ、回収時間を通学時間帯からずらす。	
<メリット> 通学時の交通に対する安全が得られる。臭いの出る生ゴミは午前中回収し、臭いの気にならない資源ゴミは午後回収することができる。これにより1日中収集車を回すことができ、効率的になる。回収頻度が増やせるので、1度に出すゴミも軽くなりお年寄り等に優しい。	<デメリット> 資源ゴミを出す時間帯が昼間になるので、生活スタイルの違いにより市民の負担になる場合がある。

●伊福よしはるサポーターを募集しています。

伊福よしはるの活動は、ボランティアのみなさんによって支えられています。特にお願いしたいのは、この市政報告のチラシを配って頂ける方です。またお店や企業に市政報告を置かせて頂ける方もお待ちしております。例え10部でも構いません。皆様のお力を少しでもお貸し下さい。ご連絡お待ちしております。

(TEL/FAX : 0797-72-3626 伊福まで)

●9月の定例市議会のお知らせ

9/9 (本会議)
9/24～29 (一般質問)
9/30～10/2 (常任委員会)
10/8 (本会議)
10/22～28 (決算特別委員会)

